

No. 13-1 近畿地方整備局 事業評価監視委員会 平成22年度第4回

国道24号

や ま と かい どう

大和街道環境整備

【再評価】

平成22年12月近畿地方整備局

目次

- 1. 事業の概要
- 2. 事業の必要性等に関する視点
 - 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
 - 2) 事業の整備効果
 - 3)事業の投資効果
 - 4)関係自治体の意見等
- 3. 事業の進捗の見込みの視点
- 4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点
- 5. 対応方針(原案)

1. 事業の概要

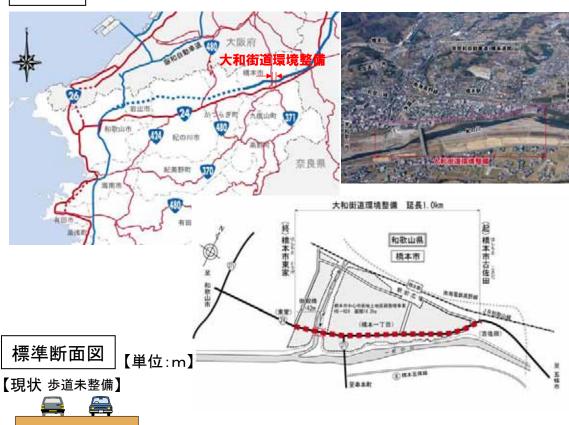
事業の目的

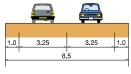
■橋本市中心市街地の交通安全の確保

事業の概要、進捗状況

区間	はしもと こさだ (起)和歌山県橋本市古佐田 はむ とりげ (終)和歌山県橋本市東家
道路延長	L=1.0km
構造規格	第3種第2級
設計速度	60 km/h
車 線 数	2車線
標準幅員	W=15.0~18.0m
計画交通量	8,400台/日
全体事業費	42億円
事 業 化	平成13年度
都市計画決定	昭和60年4月
用地着手	平成14年度
工事着手	平成16年度
事業進捗率	約60%(平成22年3月現在)
用地取得率	約74%(金額ベース:同上)

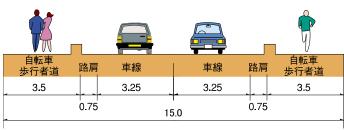
位置図





【整備後 両側歩道整備】





1. 事業の概要

- ■橋本市の中心市街地では、平成8年度より、地域活性化、災害・交通に関する安全・安心の向上等を 目的に「土地区画整理事業」が実施されています。また、平成18年度には、歩行者の移動円滑化を図 るため、「交通バリアフリー基本構想」が策定されています。
- ■大和街道環境整備は、これらの事業と一体的に整備を行う事業です。

事業区間内で実施中の事業

●橋本市中心市街地土地区画整理事業

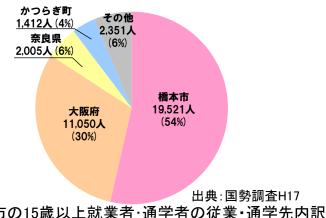
⇒地区内の幹線道路の歩道、区画道路の整備 による安全な歩行動線の確保



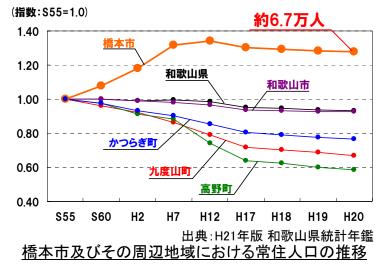
- ⇒橋本市の玄関口である橋本駅のバリアフリー化
- ⇒駅から公共施設等への移動経路のバリアフリー化

- 特定経路 ---- 準特定経路

- 1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化
- ■橋本市は大阪府のベッドタウンとして郊外に多くの新興住宅の建設が進められており、昭和60年以降 県人口は減少傾向ですが、橋本市は増加しており、現在、県下3位の人口規模となっています。
- ■一方、市中心部の街並みは従来のままであり、紀北東部地域の核都市として更なる活性化に向けた 更新が求められています。



橋本市の15歳以上就業者・通学者の従業・通学先内訳





1) 事業を巡る社会経済情勢等の変化

出典:警察庁資料

- ■自転車対歩行者の事故件数がここ10年間で約4.5倍に増加するなど、近年、自転車が関連する事故が 増加傾向にあります。
- ■橋本市東家区間では、ここ10年間で自転車・歩行者交通量がとも増加しており、歩道の無い区間の自 転車歩行車道整備の必要性が高まっています。

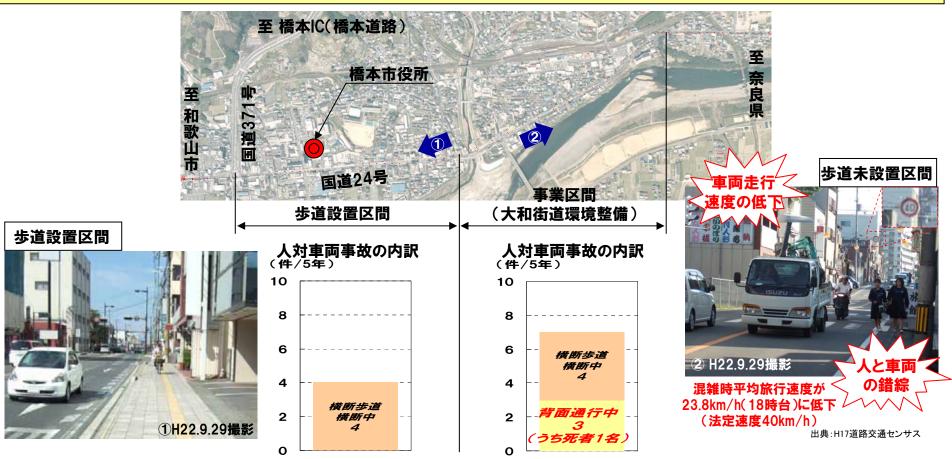


交通実態調査(H20.2.13)

- 2) 事業の整備効果【橋本市中心市街地の交通安全の確保】
- ■当該事業により歩道を設置することで、橋本駅と東西方向が概ね歩道で連絡され、通勤・通学 時などにおいて安全な歩行空間が確保されます。
- ■特に、市役所などの市中心部と橋本駅が連絡されることで、利便性が向上します。



- 2) 事業の整備効果【橋本市中心市街地の交通安全の確保】
- ■橋本市役所周辺の歩道設置区間は、事業区間と比較して人対車両の事故件数が少なく、大和街道環境整備により、人対車両の事故件数の減少が期待されます。
- ■また、事業区間では混雑時平均旅行速度は23.8km/hとなっており速度低下が生じていますが、 歩道、右折レーンの整備により、旅行速度の改善が期待されます。



資料 交通事故統合データベース(H16~H20)

3)事業の投資効果

■便益(B)

費用便益分析マニュアルに基づき、現時点における知見により、十分な精度で計測が可能でかつ金銭表現が可能である「走行時間短縮」、「走行経費減少」、「交通事故減少」について、道路整備の有無それぞれについて推計し算出。

■費用(C)

道路整備に係る建設費、及び維持管理費で算出。

■事業全体

便益(B)	走行時間 短縮便益		経費 便益	交通事故 減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	52億円	3.2億	意円	0.01億円	56億円	
費用(C)	事業費		維	持管理費	総費用	1.2
貝用(0)	42億円		4	4.9億円	47億円	

■残事業

便益(B)	走行時間 短縮便益		経費 便益	交通事故 減少便益	総便益	費用便益比 (B/C)
	52億円	3.2億	意円	0.01億円	56億円	
費用(C)	事業費	<u>.</u>	維	持管理費	総費用	3.6
更用(U)	10億円		4	4.9億円	15億円	

■算出条件等

 基準年
 : 平成22年度

 検討期間
 : 50年間

現在価値算出のための

社会的割引率: 4%

交通量の推計時点 : 平成42年度 推計に用いた資料 : 平成17年度

道路交通センサス

適用した費用便益分析

マニュアル: 平成20年11月版

事業費 : 42億円

維持管理費 : 27百万円/km 作成主体 : 近畿地方整備局

- ※1 便益・費用については、現在価値化した値である
- ※2 便益・費用の合計値については、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある
- ※3 残事業については、基準年の翌年度以降の残事業費及び翌年度以降の供用により発生する便益で算出している

4)関係自治体の意見等

■和歌山県知事

平成22年11月5日 県総第378号 近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案)の作成に係る意見照会 について(回答)

1. 対応方針(原案)に対する意見

国道24号大和街道環境整備は、橋本市が進めている土地区画整理事業と

一体的に整備する必要があるため、対応方針(原案)のとおり、事業継続が 妥当と考えます。

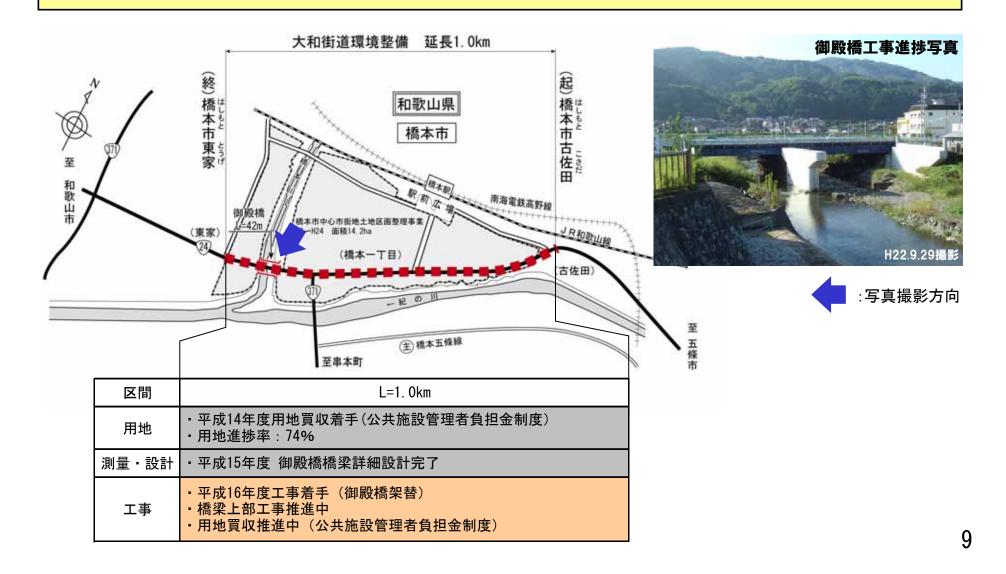
なお、事業実施にあたっては、コスト縮減に努め早期完成を図られるよう お願いします。

地域計画等への位置付け

- ■橋本市中心市街地地区区画整理事業(平成6年11月25日 都市計画決定)
- ■橋本市歴史街道モデル事業(平成7年3月)
- ■橋本市交通バリアフリー基本構想(平成18年2月)

3. 事業進捗の見込みの視点

- ■大和街道環境整備は、平成16年度に工事着手し、現在御殿橋における上部工事を推進すると ともに、公共施設管理者負担金による用地買収を推進しています。
- ■引き続き工事及び用地買収を推進し、早期の供用を目指します。



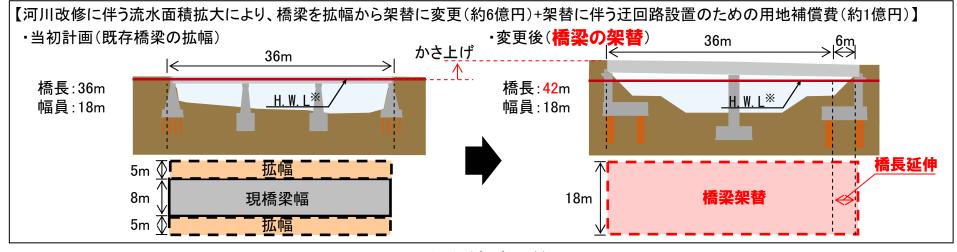
4. コスト縮減や代替案立案等の可能性の視点

大和街道環境整備は、御殿橋の拡幅を架替に変更する必要が生じ、全体事業費は増額となる一方で、橋梁上部工の構造変更などを実施し、コスト縮減にも努めてきました。 増額を最小限に抑えるため、引き続きコスト縮減に努めながら事業を推進していきます。

【全体事業費の変更】

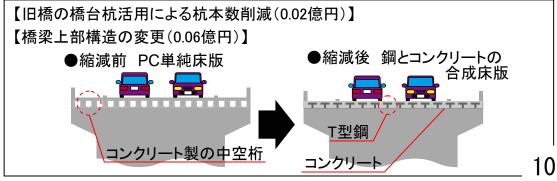
35億円(変更前)+約7億円(増加)-約0.08億円(縮減)=約42億円

■主な増額要因 ※H.W.L:計画上の最高の水位



■主な縮減対策





- ・大和街道環境整備は、橋本市中心市街地で実施されている土地区画整理事業、交通バリアフリー基本構想と一体的に整備を行う事業。
- ・幹線道路としての役割を果たす国道24号に歩道が設置され、歩行者・自転車の安全性、 利便性の向上が期待される。
- 費用便益比(B/C)は、事業全体で1.2、残事業で3.6。

2. 事業進捗の見込みの視点

- 御殿橋架替においては、橋梁上部工を推進中である。
- ・他の区間についても、公共施設管理者負担金による用地買収の推進及び工事を推進しており、早期の供用を目指す。

大和街道環境整備は、事業の必要性等に関する視点、事業の進捗の見込みの視点から継続が妥当と判断できる。

引き続き事業を推進し、早期の供用を目指すことが適切である。

事 業 継 続



No. 13-2 近畿地方整備局 事業評価監視委員会 平成22年度第4回

国道24号 ゃまとかいどう 大和街道環境整備

【再評価】

平 成 2 2 年 1 2 月 近 畿 地 方 整 備 局 平成22年度 第4回事業評価監視委員会

【前回評価時との比較表】

事業名:一般国道24号 大和街道環境整備 (道路種別 : 一般国道)

事業化年度 : 平成13年度

	前回評価時	今回評価	
	平成13年3月	平成22年11月	主な変更内容
再評価理由	新規採択時評価	事業採択後5年間が経過	
事業諸元	延長:1.0km 幅員:18.0m 種級:第3種第2級 設計速度:60km/h 車線数:2車線	同左	・変更なし
全体事業費	35億円	42億円	・全体事業費を7億円(20%)増額
(事業費) (用地面積)		約 60% 約74%	・進捗率(事業費)で約60%(実質66%)、 用地取得率(面積)で約74%進捗
費用対効果B/C (残事業)	1.6	1. 2 (3. 6)	・将来交通量需要推計の見直し ・費用便益分析マニュアルの改訂 ・評価年、各年度事業費、GDPデフレー タの時点修正 等
華寿	- 全体事業費を35億円から42億円	億円に変更している。	

様式1 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

緊迫以号 大和街道建筑整備	近職地方機關原
金額を	数十二百十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二十二

●事業採択の前提条件を確認するための指標

発揮チェックの投票	全事業:費用受益性 (8/C) =12 (超済的構成主義値 (8-C) = 20円, 超済的内部収益者 (E:RR) = 4.8%) 概率集:費用限益性 (8/C) =16 (超済的指現主義庫 (8-C) = 40億円, 超済的市場収益率 (E:RR) =20.7%)
糖糖	■ 委益が費用を上回っている
	事業の効果性
	群级条件

●事業の効果や必要性を評価するための指標

#	E IL						1報 棚			1. 57
4 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1 1	円券なモビリティの商祭						貴雄等化の支			都市の高生
音 4億 (対象となる指標のみ記載。効果が確認されるものは□を書に変更)	耕城是白疫觀線米顯豫宗觀井G據照際●	□ 現業等における設建等許行速度が20mmを置てある区壁の銀行速度の改善が原件される	□ 現職又は並行区関等における諸切交通避難量が1g 10m分略/日以上の路位温の除却もしくは交過改善が服件 される	■ 現高等に、当該路轄の整備により料便性の向上が指得できるパス群誌が存在する	□ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	二 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用股行場へのアクセス向上が見込まれる。	□ 整要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	□ 器材水産型を主体とする地域において具林水産品の流通の利便性が向上	・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ 都布所生プロジェクトを支援する事業である
査督チェックの投票	区間。(食品便益分析対象区間)について 近等過失時間 (様元):は (北方人・時間/年 と考過失時間 (東方・年 (14939万人・時間/年 → 14933万人・時間/年) 区間)(並行区間等) について:(国道14号) 並行区間等の法差別失闘。(お入・・時間/年) 並行区間等の法差別失闘。(お入・・時間/年)			《本書: 南高和歌山市駅中橋本駅前間(和歌山バス)						

□ 山本県岸野町会・石屋に包置つ17のある場で最近とお照了	■ 布会地再開発、交重整理等の設選まちづくりとの連携あり	□ 中心市街地内で行う事業である	□ 幹線都市計画道路線変度が1.5km/km2以下である市街地内で	□ 別の区域内の都市計画道路整備であり、	□ 対象区間の現在連絡選話がない住宅宅準開発 DOO下以上又は16m以上、 以上への連絡運動となる	□ 高速自動車団盗と並行する自尊選としての位置づけ有り	□ 地域機関株益郡の台籍がけめり	□ 当該路線が新たに製点都布間を高級格券線道路で運路する	□ 三算路線が関係した日常活動圏中心都で	□ 現番等における交通不能区間を解消する	□ 連番等における大型車のすれ違い困難医闘を解消する	□ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	□ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を展済する	□ 姜点緊発プロジェクト、地域連携プロジ	□ 主要な観光地へのアクセス向上が駆停される	□ 軽視整備の公共公益推過へ直接する道路である	自任奉文通量が5份台/日以上、自転車交通量が1,000色/1か以 ■ 当する召開において、自任車利用空間を整備することにより、 全性の向上が取得できる	■ パリアフリー都は基づく特定道路が新たにパリアフリー化される	対象区型が電線振光中化5ヶ年計画に位置づけ有り	市金地欠け歴史景観地区(歴史的展土)たご集電社化を連成する	□ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	4.14 上 と 整 か 子 別 子 選 切 か み オ 4. 四 コ か か 他 1. 後間 27. 砂 片 解 感 点 一 動 影 間
★11. Maria C. J. C.	くりとの連携あり		下である市産地内での事業である	市産権の総合計画議器総合権が向上する	開発(100)声以上又は1664以上、大都市においては100)声以上又は94	の位置づけ有り		論道路で運路するルートを構成する	当該路線が開接した日常活動圏中心都市関を見短時間で連絡する路線を構成する		の小院裏の題	が見込まれる	れている地区を展済する	地域連携プロジェクト。大規模イベントを支援する	10 12	7.85	連盟が1,000台/120以上、手行者交通星が500人/日以上の全てに終 整備することにより、当該区数の歩行者・自転車の通行の発達・安	こバリアフリー化される	重力が作り	原史的属土特別保存区域及び重要伝統的総造物保存地区)の斡撃導路において蘇	54	在最后的现在分词 电影电影性的 人名法巴伊德尔 化邻苯酚医哈斯特氏
	業會指揮原因的工程因中心中某種的特別																器部14号(自任事交通量7分份介)5、自動車交通銀17,切1拾/7九、步行者交通量565人/126	R. 南海橋本駅 利用客盤:15 179人日 IR:5 600人日、南海:2 779人日,特定経路延長 - 約20ml	若常柱化推進計画	歷史名词モデル學堂童点地区 随長:1 独創		

		■最近なのの最後では要からいのない。「当時と見り着手をいるも後のは200分からよりかつが方数分割をなった。 ■ 美国のM.V. 日以上・当該区間が通常検討でも場合は学館、関係がは.V. 日以上・の場合、又は歩行者交通回 1500.V.日以上の場合において、多額が増い、以其外の関係である。	需要24号(自動車交通量:17,813台/12)、多行者交通量:563人日、多益未設置延長1,04世
	天皇への備え	□ 近隣市へのルートが1つしかなく、共省による1~2監所の選擇寸額で担立化する業落を傾消する	
	A	対象区域が、総通用成本域形式計画、関の権力部略ネットワーク計画欠け地域対策媒命整備事業計画に位置 しげけがある。又は地域特別業命事業五ヶ年計画に也譲らけのある結構(以下「戦争権必譲略」という」とし、5 に負難しけるり	登多橋送道路キットワーク計画、豊意以号全様に位置づけあり
		□ 緊急権迅速等が遂行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替等線を形成する	
		□ 担心する経過キットワーシの大部等様として破骸する (X. 路路としての位置したがある場合)	
	v	□ 現益等の結び点接又は農災点検要対策電所もしくは架替の必要のある老行機会における適行機制等が解消される。	
		日 税道等の等前連行援制区間、特殊適行税制区間又は各額交通等名区限を経済する	
9K 107	地球環境の保全	■ 江奈田市の野雄により東域にたら田野豊やつの口部沿河	200季克斯波曼:436.0年
	生活機構の決 曲・寮全	● 提邀等における自動車からのMOC球化搬送率	- 衛門 ()
		● 退職等における自職等与での5世間 1 日本における自職等与での5年間 1 日本における日本には、1 日本には、1 日	(指對指案) 評価分數区間(計行区聚集):國遊公局 排出部隊員:0.17./年,排出際減率:4.2%膨減
		□ 現議等の報告レベルが必要整備機変を起送している区製について、新たに要請機要を下回ることが指併され、 る区間がある。	
		□ その他、環境や登積上の効果が原件される	
中の後	ものでがかけたの間条	□ 就華する大規模語等事業と一体的に整備する必要あり	
		ロ 他種類との運動プログラムに位置づけられている	
	+0#	□ その地、対象地域や等業に個有の等情等、以上の項目に属さない。数果が見込まれる。	

(再評価)

費用便益分析の結果

様式-2

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・BP その他の別
国道24号	大和街道環境整 備	L = 1. 0km	二次改築,	現拡

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
8, 400	2車線	近畿地方整備局

①費用

	事 業 費	維持管理費	合 計
基準年		平成22年度	
単純合計	40億円	13億円	53億円
うち残事業分	11億円	13億円	24億円
基準年における 現在価値 (C)	42億円	4. 9億円	47億円
うち残事業分	10億円	4. 9億円	15億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計				
基 準 年		平成22	年度					
供用年		平成26年度						
単年便益 (初年便益)	2. 9億円	0.18億円	0.001億円	3. 1億円				
基準年における 現在価値 (B)	52億円	3. 2億円	0.01億円	56億円				
うち残事業分	52億円	3. 2億円	0.01億円	56億円				

注)「供用年」は、便益算定上の仮定の供用年である。

③ 結 果

費用便益比(事業全体)	1. 2
経済的純現在価値(事業全体)	8. 3億円
経済的内部収益率(事業全体)	4. 8%
費用便益比(残事業)	3. 6
経済的純現在価値 (残事業)	40億円
経済的内部収益率 (残事業)	20. 7%

注) 費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比(B/C)
交通量	8, 400台/日	±10%	3. 3~4. 0
事業費	11億円	±10%	3. 4~3. 9
事業期間	3年	± 2 0 %	3. 5~3. 7

交通状況の変化

事業名:大和街道環境整備(事業全体)

(推計時点 H42年)

	61819.			整備なし(A)	整備あり(B)
T0000 3450 1400		交通量※1	[台/日]	8, 800	8, 800
	改築道路 0km)	走行時間 ^{※2}	[分]	3	1. 3
		走行時間費用※3	[億円/年]	4. 77	1. 92
	USSON AND SOLD	交通量	[台/日]	3, 900	3, 900
	橋本市道 (1.3km)	走行時間	[分]	3	3
	4 - 4	走行時間費用	[億円/年]	1. 83	1. 79
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
21		交通量	[台/日]	0	0
②主な周 辺道路 ^{※4}		走行時間	[分]	0	0
A COMPLETE OF STREET		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
③その他 (26, 47	道路合計 5.0km)	走行時間費用	[億円/年]	191, 113, 88	191, 113, 92

			走行時間費用	走行時間費用	走行時間短縮便益	
			整備なし(A)	整備あり(B)	(A - B)	
合計: 26, 477. 3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	191, 120, 48	191, 117, 63	2. 85	

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

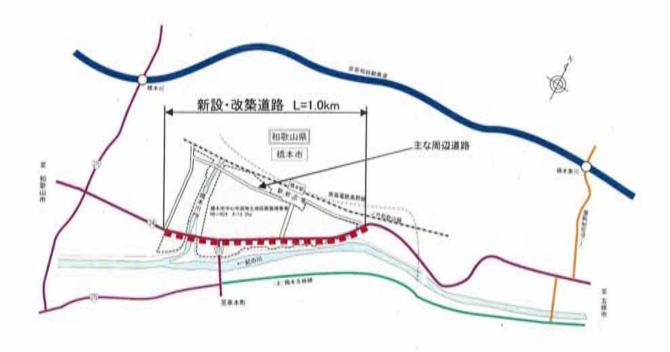
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



事業名:大和街道環境整備(残事業)

(推計時点 H42年)

0.000				整備なし(A)	整備あり(B)
①新設・改築道路		交通量 111	[台/日]	8. 800	8, 800
	改築道路 Okm)	走行時間※2	[分]	3	1. 3
(1) 51111		走行時間費用※3	[億円/年]	4. 77	1. 92
		交通量	[台/日]	3, 900	3, 900
	橋本市道 (1.3km)	走行時間	[分]	3	3
	8 0 8	走行時間費用	[億円/年]	1. 83	1. 79
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
22		交通量	[台/日]	0	0
②主な周 辺道路 ^{※4}		走行時間	[分]	0	0
PROFITE (1910)		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
		交通量	[台/日]	0	0
		走行時間	[分]	0	0
		走行時間費用	[億円/年]	0. 00	0. 00
	道路合計 5.0km)	走行時間費用	[億円/年]	191, 113, 88	191, 113, 92

			走行時間費用	走行時間費用	走行時間短縮便益	
			整備なし(A)	整備あり(B)	(A - B)	
合計: 26, 477. 3km	走行時間短縮便益	[億円/年]	191, 120, 48	191, 117. 63	2. 85	

※1: 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

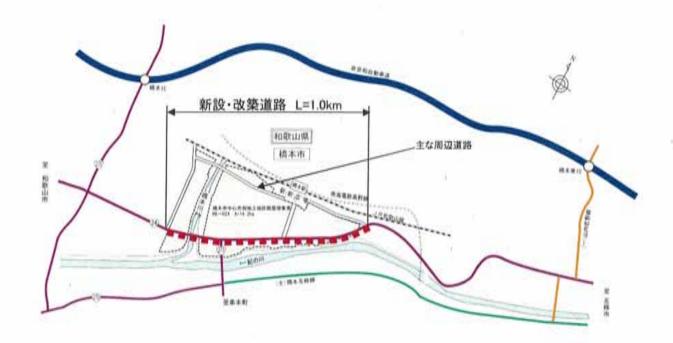
※2: 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3: 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4: 当該事業により大きな変化が生じる道路について3~5路線程度以内で記載する。

※5: ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名: 大和街道環境整備(2)

			項目	チェック欄
		費用便益分	析マニュアル	_
	算出マニュアル	(平成20年	11月 国土交通省 道路局 都市·地域整備局)	
	2.1	その他		
		分析対象期	TH)	50年間
分	か析の基本的事項	社会的割引	率	4%
		基準年次		平成22年
	交通流の	1時点のみ丼		■ (H42)
	推計時点	複数時点で	の推計	
		整備の有無	それぞれで交通流を推計	
	推計の状況	整備の有無	のいずれかのみ推計	口有 口無
	TEAT OF TABLE	いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみの推計とした理由を記載	
	VI III W V V V V V V V V V V V V V V V V	道路交通セン (三段階推定	ンサスをベースとした自動車OD表	■ (H17センサスベース)
	推計に用いた OD表	make make the total policy of the last of	ップ調査をベースとした自動車OD表	
		(四段階推定		
		その他(
交	開発交通量の 考慮	無		
通		有		
流			考慮した開発交通量(トリップ数)	()台トリップ/日
推計		有の場合のみ		
		QーV式を用	いた配分	
		転換率式を月		
		ローV式と転	換率式の併用による配分	
		均衡配分(リ		
		簡易手法		
	配分交通量の	600 M - C + A - C	小規模事業である	
	推計手法	簡易手法の 採択理由	山間部海岸部で併行道路が少ない	
		54 C480-000000	その他()	
		簡易手法の考え	た方(将来交通量の設定方法等)	
	-	その他(BP	R関数と転換率式の併用による配分)	
			冬了時の速度を交通量でウェイト付け	
		して設定		
	速度設定の	採用理由を記載		
	考え方	最終配分の過	恵度	
			分割回毎の極端な速度差が生じないBPR関数の 最終速度を採用。	の適用に併せて、
		その他()	

(3)

			項目	チェック欄		
		考慮しない				
	2	考慮する				
	休日交通の		面的に考慮			
		本機士ス	対象路線のみ考慮			
	W-F III	考慮する 場合のみ	採用した休日係数 休日係数を考慮した理由および採用した休日係数の	() % 考え方を記載		
		考慮しない				
		考慮する				
	災害等による 通行止めの	考慮する	採用した通行止め日数 採用した通行止め日数の考え方を記載	()目		
	影響	場合のみ	とり止め交通を考慮する □ とり止め交通を考慮しない場合はその理由、考慮した場合はその考え方を記載			
		考慮しない				
		考慮する				
T E O L	冬期交通の 影響	考慮する 場合のみ	採用した冬期日数 採用した冬期日数の考え方を記載 冬期の走行速度と交通容量の関係 設定の考え方を記載	() 目		
1	交通流推計の	ブロック別・『	↓ 車種別走行台キロの伸び率による設定	-		
	時点以外の 便益の算定	その他 ()			
ľ		費用便益分	折マニュアルの値を使用			
1	車種別時間	独自に設定し				
	価値原単位					
Ì	acestrals, or a	費用便益分				
	車種別走行 経費原単位	独自に設定した値を使用				
ŀ	交通事故減少	中央分離帯の	の有無を考慮			
	便益算定	中央分離帯の				
	走行時間短縮·走	考慮しない				
	行経費減少・交通 事故減少以外の便 益	考慮する (考慮の場合、	算出根拠を添付すること)			

事業名: 大和街道環境整備

(4)

		項目	チェック欄
	De toda NA VIST	詳細事業計画による値を採用	
l(事業費	標準投資パターンを採用	
费		その他(残事業分は等分割とした)	
用	維持管理費	維持管理費の設定根拠を記載	
の	雅特官建筑	既存の路線の実績を参考に設定	- 1/2
算	雪寒費	積雪地域または寒冷地域である	
定	その他		
4.	その他		
·····			

単純価値(億円)

費用の現在価値算定表(事業全体)

箇所名:国道24号 大和街道環境整備

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む) 延長(km)

単価(億円)

Comment of the Commen					0.27	1.0	0.27	
			割戻率	GDP	事業費		維持管理	
年次	Æ	度	百りかくべや	デフレータ	単純価値		が仕ずす 図 大王 図 6カ 7年 7万	類(1/8/17)
		_	1 1000			現在価値	単純価値	現在価値
-13年目	H	13	1.4233	98.4	0.33	0.44		
-12年目	H	14	1.3686	96.6	4.50	5.81		
-11年目	H	15	1.3159	95.4	0.72	0.91		
-10年目	H	16	1.2653	94.4	1.90	2.33		
-9年目	H	17	1.2167	93.2	1.67	1.99		
-8年目	Н	18	1.1699	92.5	5.25	6.06		
-7年目	Н	19	1.1249	91.7	2.53	2.84		
-6年目	H	20	1.0816	91.3	4.76	5.15		
-5年目	H	21	1.0400	91.3	2.41	2.51		
-4年目	Н	22	1.0000	91.3	4.76	4.76		
-3年目	H	23	0.9615	91.3	3.72	3.58		
-2年目	H	24	0.9246	91.3	3.72	3.44		
-1年目	Н	25	0.8890	91.3	3.71	3.30		
供用開始年次	H	26	0.8548	91.3			0.26	0.22
1年目	Н	27	0.8219	91.3			0.26	0.21
2年目	Н	28	0.7903	91.3			0.26	0.20
3年目	Н	29	0.7599	91.3			0.26	0.20
4年目	H	30	0.7307	91.3			0.26	0.19
5年目	Н	31	0.7026	91.3			0.26	0.18
6年目	H	32	0.6756	91.3			0.26	0.17
7年目	H	33	0.6496	91.3			0.26	0.17
8年目	H	34	0.6246	91.3			0.26	0.17
9年目	H	35	0.6006	91.3			0.26	0.15
10年目	H	36	0.5775	91.3			0.26	0.15
11年目	H	37	0.5553	91.3			0.26	0.13
12年目	H	38	0.5339	91.3			0.26	0.14
13年目	H	39	0.5134	91.3			0.26	
14年目	H	40	0.4936	91.3			0.26	0.13
15年目	H	41	0.4746	91.3			0.26	0.13
16年目	H	42	0.4746	91.3			Temporary described at	0.12
17年目	H	43	0.4388	91.3			0.26	0.12
18年目	H	44	0.4388				0.26	0.11
19年目	H			91.3			0.26	0.11
	Н	45	0.4057	91.3			0.26	0.10
20年目	_	46	0.3901	91.3			0.26	0.10
21年目	H	47	0.3751	91.3			0.26	0.10
22年目	Н	48	0.3607	91,3			0.26	0.09
23年目	H	49	0.3468	91.3			0.26	0.09
24年目	Н	50	0.3335	91.3			0.26	0.09
25年目	Н	51	0.3207	91.3			0.26	0.08
26年目	Н	52	0.3083	91.3			0.26	0.08
27年目	Н	53	0.2965	91.3			0.26	0.08
28年目	Н	54	0.2851	91.3			0.26	0.07
29年目	н	55	0.2741	91.3			0.26	0.07
30年目	Н	56	0.2636	91.3			0.26	0.07
31年目	Н	57	0.2534	91.3			0.26	0.07
32年目	H	58	0.2437	91.3			0.26	0.06
33年目	Н	59	0.2343	91.3			0.26	0.06
34年目	Н	60	0.2253	91.3			0.26	0.06
35年目	Н	61	0.2166	91.3			0.26	0.06
36年目	H	62	0.2083	91.3			0.26	0.05
37年目	H	63	0.2003	91.3			0.26	0.05
38年目	Н	64	0.1926	91.3			0.26	0.05
39年目	H	65	0.1852	91.3			0.26	0.05
40年目	H	66	0.1780	91.3			0.26	0.05
41年目	H	67	0.1712	91.3			0.26	0.03
42年目	H	68	0.1646	91.3			0.26	0.04
43年目	H	69	0.1583	91.3			0.26	0.04
44年目	Н	70	0.1522	91.3			0.26	0.04
777-2	101	70	O. TOEL	91,0			0.20	0.04

単純事業費計					40.00		12.86	
合 計					34.37	42.42	12.86	4.91
49年目	H	75	0.1251	91.3	-5.63	-0.70	0.26	0.03
48年目	H	74	0.1301	91.3			0.26	0.03
47年目	Н	73	0.1353	91.3			0.26	0.03
46年目	H	72	0.1407	91.3			0.26	0.04
45年目	H	71	0.1463	91.3			0.26	0.04

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

注2)評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表(残事業)

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

名:国道24号 大精	山村坦林州	TE UNI			単価(億円) 0.27	延長(km) 1.0	単純価値(億
		割戻率	GDP	事業費		維持管理	
年次	年度	B105.4-	デフレータ	単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-3年目	H 23	0.9615	91.3	3.72	3.58	and the limiter	SCIT IIII II
-2年目	H 24	0.9246	91.3	3.72	3.44		
-1年目	H 25	0.8890	91.3	3,71	3.30		
供用開始年次	H 26	0.8548	91.3			0.26	0.2
1年目	H 27	0.8219	91.3			0.26	0.2
2年目	H 28	0.7903	91.3			0.26	0.2
3年目	H 29	0.7599	91.3			0.26	0.2
4年目	H 30	0.7307	91.3			0.26	0.1
5年目	H 31	0.7026	91.3	- 1		0.26	0.1
6年目	H 32	0.6756	91.3			0.26	0.1
7年目	H 33	0.6496	91,3			0.26	0.1
8年目	H 34	0.6246	91.3			0.26	0.1
9年目	H 35	0.6006	91.3			0.26	0.1
10年目	H 36	0.5775	91.3			0.26	0.1
11年目 12年目	H 37	0.5553	91.3 91.3			0.26	0.1
13年目	H 39	0.5339	91.3			0,26 0,26	0.1
14年目	H 40	0.4936	91.3			0.26	0.1
15年目	H 41	0.4746	91.3			0.26	0.1
16年目	H 42	0.4564	91.3			0.26	0.1
17年目	H 43	0.4388	91.3			0.26	0.1
18年目	H 44	0.4220	91.3			0.26	0.1
19年目	H 45	0.4057	91.3			0.26	0.10
20年目	H 46	0.3901	91.3			0.26	0.10
21年目	H 47	0.3751	91.3			0.26	0.10
22年目	H 48	0.3607	91,3			0.26	0.09
23年目	H 49	0.3468	91.3			0.26	0.09
24年目	H 50	0.3335	91.3			0.26	0.09
25年目	H 51	0.3207	91.3			0.26	0.08
26年目	H 52	0.3083	91.3			0.26	0.08
27年目	H 53	0.2965	91.3			0.26	0.08
28年目	H 54	0.2851	91.3			0.26	0.0
29年目	H 55	0.2741	91.3			0.26	0.07
30年目	H 56	0.2636	91.3			0.26	0,0
31年目 32年目	H 57	0.2534	91.3 91.3			0.26	0.0
33年目	H 59	0.2343	91.3		_	0,26 0,26	0.06
34年目	H 60	0.2253	91.3			0.26	0.06
35年目	H 61	0.2166	91.3			0.26	0.06
36年目	H 62	0.2083	91,3			0.26	0.05
37年目	H 63	0.2003	91.3			0.26	0.05
38年目	H 64	0.1926	91.3			0.26	0.05
39年目	H 65	0.1852	91.3			0.26	0,05
40年目	H 66	0.1780	91.3			0.26	0.05
41年目	H 67	0.1712	91.3			0.26	0.04
42年目	H 68	0.1646	91.3			0.26	0.04
43年目	H 69	0.1583	91.3			0.26	0.04
44年目	H 70	0.1522	91.3			0.26	0.04
45年目	H 71	0.1463	91.3			0.26	0.04
46年目	H 72	0.1407	91.3			0.26	0.04
47年目 48年目	H 73	0.1353	91.3 91.3			0.26	0.03
49年目	H 75	0.1301	91.3	0.00	0.00	0.26 0.26	0.03
合 計	H /0	0,1201	91,3	11.16	10.32	12.86	4.91
事業費計				11.16	10.02	12.86	4.0

注1)事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、 必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。

このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として 評価を実施。)

精神	7	1	Ī
蝉	۹	k	ŝ
440	ú	á	2
	Ą	Ą	þ

# 0	計 現在香館	264	254	244	234	225	2.16	207	5	i in	1 22	1 76	1,69	1.62	255	150	1.44	1 25	1 20	1 340	1.20	114	1.00	104	0.99	0.95	0.90	0.86	0.82	0.78	0.75	0.71	0.68	000	0.50	0.50	0.53	0.51	0.483	0.46	0.44	0.42	0.40	0.38	0.36	0.34	0.33	031	0.30	0.28
40	便要合計	309	3.09	3.08	308	3.08	3.07	307	306	306	308	305	308	304	304	3.03	300	300	3.00	2 98	200	293	291	2.88	2.86	284	2.83	2.79	277	275	272	270	2.68	202	202	253	256	254	251	2.49	2.47	2.64	242	2.40	237	235	2.33	2.30	2.23	226
帯技能や家様 (側田)	現在価値 (5×(4)	0.001	0000	0.001	0000	0000	0.000	0.000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0,000	0000	0.000	0.000	0000	0000	0000	0000	0000	0,000	0000	0.000	00000	0000	0,000	0000	0000	0000	00000	0,000	0000	0000	0000	00000	0000	00000	0000	00000	00000	0000	0000	0000	00000	00000	0000	0000
域路續	6	-	0.001	0.001	0.001	10001	0,001	1000	0001	0.001	0000	0000	0.001	1000	0.001	0.001	0.001	0.001	0000	0.004	0.001	0.001	0.001	1000	6,001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0000	1000	1000	0.001	0.001	0.001	1000	0.001	0.001	0.001	0.001	0000	0.001	0.001	0.001	0.000	0,000	0,000	0000
	現在価値 ②×(4)	0.15	0.15	0.14	0.14	0.13	0.12	0.12	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	0.09	0.09	60:0	0.08	0.08	0.08	0.07	0.07	100	0.06	90'0	900	900	0.05	0.05	0.00	900	000		000		0.00			0.03					0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	0.02	2000	200
	#6	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	0.16	0.16	0.16	0.16	0.16	0.15	0.00	0.00	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.14	0.34	0.14	0.14
走行経費便益 (億円)	\$50 (40)	90'0	90.0	0.06	0.06	900	90.0	0.06	900	900	90'0	90'0	0.06	90'0	0.06	0.06	90'0	90'0	90'0	0.06	900	90'0	90'0	900	900	900	0.05	0.05	900	0.05	000	0000	2000	0.05	0.05	0.05	900	0.05	900	0.05	900	9000	900	0.05	0.05	900	900	900	900	0.00
#2	報告	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	100	0.01	100	0.01	0.01	DOT	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	100	100	100	100	0.01	0.01	0.01	0.01	0.01	100	2000	100	000	000	000	0.01	0.01	0.01	100	0.01	100	0.01	100	100	100	100	100	100	100	120
	委用章额	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0,10	0.10	0.10	0.10	000	000	906	600	6000	60'0	900	60'0	90'0	900	80'0	90'0	90'0	800	0.08	0.08	800	000	0.03	0.03	4 70
	現在価値 ①×(A)	2.49	2.39	230	220	212	200	1,95	1.87	1.80	1,73	1,66	1.59	1.53	1.47	1,41	135	1,30	1.24	1.18	1,13	1.08	103	0.98	0.93	0.89	6982	0	0.77	0.74	0.00	790	0.61	0.58	0.55	0.53	020	0.48	0.46	0.43	0.41	039	0.37	0.36	0.34	0.32	1000	0.28	0.93	E3 20
	# 0	2.91	162	290	230	290	2.89	289	2.89	2.88	2.88	2.87	287	2.86	2.85	2.86	2.85	285	2.83	2.80	278	276	274	2.72	269	2.67	2.65	2.63	7.01	220	25.5	250	250	2.47	2.45	2.43	241	239	236	234	232	230	228	225	223	221	2.13	214	212	130.62
之行時間恢复 (應円)	音通貨物	0.53	0.52	0.52	032	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.51	0.53	0.51	0.53	0.55	0.51	0.53	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	620	000	200	200	020	000	2020	050	020	0.50	0.50	0.50	0.50	020	0.50	0.50	0.50	0.50	0.49	0.49	0.49	0.49	0.40	0.49	0.49	25.26
W.	小型貨物	0.32	0.32	0.32	9.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.31	031	031	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	120	0.50	120	120	200	120	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.30	030	030	0.30	0.30	030	0.30	0.30	030	030	0.30	0.30	0.30	0.30	15.46
	美田車類	2.07	206	502	207	200	208	200	205	202	205	204	204	204	204	203	203	203	201	138	98	Z.	185	800	20 0	000	E .	727	1000	12.	133	5	1.59	1.67	1.65	1.63	181	1.58	R	X.	25.	081	1.48	1.40	144	250	137	1.35	1.33	88 90
177	1777	913	0	79 6	5 6	200	75 6	n i	0.10	On in	818	en in	on i	F 6	20 4	5	m i	in in	en en	60	913	es es	an i	n c	200	no	0 00	0 0	01.0	212	16	17	913	6	91.3	913	60	in i	20	10 T	7 7	6	(A)	7 7	7000	9 619	6 10	19	91.3	
母 三 海	3	0.8548	0.8219	0.7500	0.1032	0.7301	0.000	U.S./Sell	0.5496	0.6246	0.6006	0,5775	0.5053	0.5339	0.5134	0.4838	0.4746	0.4564	0.4388	0.4220	0.405.7	0.3901	03/01	0.50001	0.0000	0.55555	0.0000	0.0000	0.0051	0.2741	0.2636	0.2534	0.2437	0.2343	0.2253	0.2166	0.2083	0.2003	0.13528	0.1852	03130	0.1712	0.3646	0.1503	0.1522	0.1407	0.1353	0.1301	0,1251	
幸の事	2) 章	0.99663	038883	0.935050	0.33033	0.93500.0	0.99802	0.93627	0.83807	0.9980	909860	0.99856	0.99656	0.39850	0.33000	033800	0.99850	403850	0.99249	0.99243	0.99237	0.99232	0.33520	0.0352.00	m 000007	magana.	A DOSTON	0.00188	0.00181	0.99174	0.99158	0.99163	0.99154	0.99146	0.99139	0.99131	0.99124	Constitution of the	0.553100	0.000000	0.000000	0.000000	Classic	Connec	0.000000	0.00000	0.99030	0.99021	0.99011	
裁走行台キロの年次別伸び率	and tax	0.99742	039/41	0.53740	0.00000	0.000000	0.000430	790000	0.99842	0.88842	0.98841	0.99841	0.55541	0.99941	0.55640	0.89840	0.88840	0.88890	0.99890	0.99880	0.99890	0.39890	USSESSO	0.33030	0.90000	0.33083	0.00000	0.90000	0.00000	0.99889	0.99889		0.99888			0.99888	0.99688	0.00000	0.93000	0.000001	0.93661	0.93867	0.93881	A 000007	0.00007	0.99887	1	0.99836	0.99886	
	美田幸福	0.99920	2000000	0.000000	Agggggg	200000	0.9990u	0.33004	0.93884	0.93884	0.33555.0	0.99863	0.99800.0	0.000000	0.33002	0.9360.2	0.935002	0.56503	0.96948	0.985937	0.98926	0.98914	0.3630Z	0.00000	0.99865	0.00000	0.00000	0.99804	0.98810	0.98796	0.98382	0.98766	0.98751	0.98735	0.98719	0.98702	0.595555	0.00000	0.30630	0.000010	710000	0.00000	0.00013	0.00000	0.00000	0.99486	0.98463	0.98439	0.98414	
年		K	17 14	Т	ľ	T	T	T	Т	S S		Т	100	Т	0,00	Т	1	T	Т	¥ :	7	T	T	Т	T	2 2 2	Т		ľ			.11.5	H 28			e		200	Т	Т		Т	9 6 6 5	T	Т		Г	其其		*
年次		世界関連は	440	1040	1 4 4 7	1141	II III	1141	141	11 0 450	Hate.	m#o	n a	1145	100	1 1 1 1 1 1 1	11 11 11 11 11	1140	m the second	100	H 400	SATE OF THE PERSON	10000	23EB	34年日	2548	76,68	27年日	28年日	29年目	30年目	31年目	32年目	33年田	matrice and a second	H H S	11400	11400	1400	0459	18417	1144	1145	1140	日井は	日本等	47年日	45年田	母本日	40

	ľ	
1	б	
Ņ	Ü	

ata	現在価値割まな	284	254	244	234	200	2.16	207	1 98	191	100	31.1	1.60	1.67	150	1 20	1.44	1 36	1 20	130	071	77.5	100+	104	\$6 G	0.95	060	0.85	0.82	0.78	0.75	0.71	0.68	0.00	0.54	926	053	0.51	0.48	0.46	0.44	0.42	0.40	0.38	0.36	0.34	0.91	0.30	0.00
40 E	1405	808																													- 1	2.70	2.68	0.50	261	2.58	256	254	251	2.49	247	244	242	2.40	237	2.30	230	2280	9.367
12 E	現在価値 便益	0000	0.001	0.001	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	DOUD.	0000	0000	0000	0000	0000	0.000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0000	0,000	0000	0000	0000
中部小派指令 (田県)	е	1000	200	0.001	0.001	0.001	0.001		0.001	0.001	0.001	0000	0.001		0.001	0.001					2 10	0000				100					00001	0.0001	0.001	0000	1000	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0.001	0001	6,001	0000	0000	0000	0000	0000	0000
	級在衛星 (2)×(4)	0.15	0.15	0.14	0.14	0.13	0.12	0.12	0.11	0.11	0111	0.10	0.10	600	600	600	900	9000	0.08	200	000	100	900	900	900	90'0	90'0	90'0	9000	0.05	900	000	500	900	003	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	0.03	200	200	0.00	70.00	0.00	000	0.02	0.00
	(24)	0.13	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.18	0.13	0.18	0.18	0.13	0.18	0.13	0.18	0.17	0.17	017	611	0.17	011	017	0.17	0.17	0.17	0.16	0.16	0.16	0.10	0.16	9 6	9 6	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.15	0.14	4 4	0.14	2 4 5	100	0.14	0.14	210
走行経費便益 (衛円)	類類	90'0	900	900	900	90'0	90'0	9000	900	90'0	900	900	900	90'0	900	900	0.06	900	900	900	0.06	0.06	0.06	0.06	000	0.05	900	900	900	900	800	9 8	000	9000	0.05	0.05	0.05	0.05	0.05	000	900	000	000	000	0000	000	90'0	0.05	9000
走行	小型金額	-	100	10.0	10.0	10.0	100	10.0	100	100	100	100	100	100	10.0	100	10.0	100	100	100	100	100	0.01	10.0	100	10:0	100	10.0	100	100	000	100	001	100	10:0	100	100	100	100	100	100	100	100	0.00	0.01	0.01	100	100	0.61
	127	Gal	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.11	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	0.10	600	0000	000	000	600	60'0	0.09	600	800	900	900	900	0.00	0.00	0000	0.08	0.07	0.07	0.07	0.075
_	現在価値 (1)×(A)	2.49	239	230	220	2.12	2.03	1961	187	1.80	1.73	1.66	1.59	1.53	1.47	1,41	1.35	1.30	124	1.18	1.13	1.08	1,03	0.98	0.93	68.0	0.85	0.81	0.77	0.70	0.50	0.64	0.61	0.58	0.55	0.53	0.50	0.489	0.46	0.438	0.41	0.338	0.35	0.30	0.35	031	0.29	0.28	0.27
	da	291	291	2.90	2.90	2.90	2.89	2.89	2.89	2.88	2.88	287	2.87	2.86	2.86	2.86	285	285	2.83	2.80	2.78	2.76	2.74	2.72	2.69	267	2.65	2.63	261	220	252	250	250	247	2.45	243	241	2.33	2.35	234	252	9.26	200	223	221	2.19	217	2.14	2.12
M から を できる (単一) (単一)	が	0.53	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.52	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	0.51	020	0.50	050	0000	0.50	0.50	0.50	050	050	020	0.50	0.50	000	0.30	0000	0000	0.40	10.40	0.49	0.496	0.49	0.49	0.49	0.49
F-3	小型貨幣 書	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.32	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	031	031	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	0.31	030	030	0.30	0.30	2000	1000	030	030	030	030	0.30	630	030	630
	東用事類 小	2.07	2.06	206	206	206	206	206	2.05	205	2.05	2.04	204	204	204	2.03	2.03	2.03	201	1.99	1.96	181	1.92	130	1.88	1.86	187	1.82	100	1361	1.73	171	1.69	1.67	185	1.63	1,63	900	27	100	1 500	1 43	1.46	144	1.42	1.39	137	22	133
F17-5	101	913	E 10	(F)	B. 18	60,00	(A)	100	91.0	913	91.3	619	en an	61.5	61.60	91.3	913	913	91.3	913	91.3	91.3	91.3	61.0	91.3	61.9	0 1	7 6 50	200	9 6	913	913	913	91.3	61.6	5	77 6	010	0.00	01.0	0.10	013	613	91.3	93.33	913	913	00	913
新引車 デ	S	0.8548	0.8219	0.7903	0.7599	0.7307	0.7006	0.6756	0.6496	0.6246	0.6006	0.5775	0.5553	62233	0.5134	0.4936	0,4746	0.4564	0,4388	0.4220	0.4057	0.3901	0.3751	0.3607	0.3468	03335	03507	0.3053	0.2350 0.2350	02741	0.2536	0.2534	0.2437	0.2343	0.2253	02356	0.0000	0.1000	0.1350	0.1780	01719	0.1646	0.1583	0.1522	0.1463	0.1407	0.1353	0.1301	0.1253
	2 章	0.99863	0.99863	U.SSORGS	0.99663	0.99862	0.99862	0.3985.0	0.99857	0.99857	0.99856	0.99856	0.99856	0.99856	0.99856	0.99855	0.99855	0.99254	0.99249	0.99243	0.99237	0.99232	0.99226	0.99220	0.992138	0.99207	0.00000	0.001000	0.00101	0.98174	0.99168	0.99161	0.99154	0.39146	0.99139	0.39131	0.3001.00	0.0001000	0.99100	0.99092	0.99084	0.99075	0.99067	0.99058	0.99049	0.99040	0.99030	0.99021	0.99011
裁走行台和の年次別帯び率	近番籍海ブロック 機 貨物車箱	0.99742	0.99741	0363740	033740	033033	039738	750660	0.99842	0.99842	0.99841	0.99841	0.99841	0.99841	0.99840	0.99840	0.99840	068660	0.99890	0.99890	0.99890	0.99890	0.99890	068660	_	4	0.000000	1	0 000000	0.99889	0.99889			0.99888	0.99688	0.000000		Ш	1	1	0.99887	0.99887	0.99887	0.99887	0.99887	0.99887	0.99886	0.99886	0.35555
裁表行台	(近日 東田章縣)	0.99920	0.39920	USSSCO	02866.0	028850	028660	0.33556	0.99864	0.99864	0.99863	0.99863	0.99963	0.99863	0.99863	0.99963	0.99862	0.98959	0.98948	0.98937	0.98926	0.38914	0.98902	0.98890	0.98877	0.98865	0.00000	0.00000	0.30024	0.98796	0.98782	0.98766	0.98751	0.98735	0.98719	0.380.02	0.30000	0.48650	0.98631	0.98612	0.98593	0.98573	0.98552	0.98531	0.98509	0.98486	0.98463	0.98439	0.35414
耕		x :	No.	200	200	3 2	200	70 11	N :	X I	E S	E 28	181	3 2	8:	3	H	H 42	H 43	1 4	T P	E E	H 47	9	9 2	8 2	200	1 2 2	3 77	183	18 H	H 57	88 ±	B	3 2	200	2 2	7	19 H	28	HED	E E	H 69	H 70	HT	H 73	E	11/4	O L
年次		京 出 製 名 中 公	1141	11 47	m de de	110	m at the	110	HH.	H # 10	田井	10年日	H	12#8	H 422	14# 11	日本日	日本記	日本江	18年日	日本61	20年目	21年日	日本77	H#62	田村北	174 H	104E	が年田	29年日	30年目	31年目	32年目	33年日	四十二日	11430	1140	の年日	図集団	日本印	日本日	日本ひ	日本日	日本計	45年目	46年目	日本日	404 m	日十分



県 総 第 378 号 平成22年11月 5日

近畿地方整備局長 様

和歌山県知事 仁 坂 吉



近畿地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針(原案) の作成に係る意見照会について(回答)

平成22年10月22付け、国近整企画第45号で、意見照会のあった標 記について、下記のとおり回答します。

記

1 対応方針(原案)に対する意見

国道24号大和街道環境整備は、橋本市が進めている土地区画整理 事業と一体的に整備する必要があるため、対応方針(原案)のとおり、 事業継続が妥当と考えます。

なお、事業実施にあたっては、コスト縮減に努め早期完成を図られるようお願いします。